

第12回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 2004年3月23日（火）10：30～11：00
2. 場 所 中央合同庁舎第4号館7階 共用743会議室
3. 出席者 齋藤委員長代理、木元委員、町委員、
内閣府
永松審議官、藤嶋参事官（原子力担当）
4. 議 題
 - （1）市民参加懇談会コアメンバー会議の開催結果について
 - （2）町委員の海外出張について
 - （3）その他
5. 配布資料
 - 資料1 市民参加懇談会コアメンバー会議の開催結果について
 - 資料2 町委員の海外出張について
 - 資料3 第11回原子力委員会定例会議議事録（案）
 - 資料4 原子力委員長計についてご意見を聴く会（第10回）の開催について
6. 審議事項
 - （1）市民参加懇談会コアメンバー会議の開催結果について

標記の件について、犬塚参事官補佐より資料1に基づき説明があり、以下のとおり意見交換があった。

（木元委員）原子力長計に関する意見募集についてはホームページでも呼びかけを行い、Eメール、FAX、郵送で寄せられた意見の総数は475件であった。そもそも市民参加懇談会の役割は、原子力政策の策定プロセスに市民の意見を反映させることであり、原子力長期計画を策定する過程において、ダイレクトに市民の意見を聞くためには市民参加懇談会の場しか

ないと思った。今回の開催結果によっては原子力長期計画に関するご意見を述べていただく場としての市民参加懇談会をもう数回開催する可能性もあると思う。コアメンバーのご意見を聞いて考えていきたい。今回、これだけのご応募があったことは、大変嬉しく思う。

3月27日に東京で開催する市民参加懇談会は、第1部で9名の方に発言していただく予定である。第2部では主として会場の方からご意見を出していただき、第1部で発言していただいた9名の方にも、足りない部分を補足して発言していただくことを考えている。そしてコアメンバーが、ご発言の内容について確認するための質問をする形式を考えている。その結果をまとめ、委員会に報告する。報告する際は、3月27日当日、市民参加懇談会でいただいたご意見とともに、事前に行った意見募集に応募頂いたご意見も報告することになる。

福島県での開催を検討している市民参加懇談会については、浜通りの富岡町の方から開催のご希望をいただいているので、その方向で調整をしたいと考えている。開催の形式についても、地元の方々にどういった主題をどのような形式で開催するかを重ねて伺いたいと考えている。

(町委員) 意見応募には400件を超す応募があったことは、良いことである。意見のみ提出された338件の方は、どのような意見が多いのか、整理、分類し、その結果を市民参加懇談会で披露するなどして、いただいた意見をうまく生かすと良いと思う。また、この市民参加懇談会は、原子力長期計画に関するご意見を述べていただく場であるので、一般の方が原子力長期計画に対してどのように考えているのか、期待しているのか等に焦点を絞って議論をした方が良いと思う。原子力全般についてのご意見も出ると思うが、今回は原子力長期計画に対する意見を伺うようにした方が良いと思う。中には質問もあると思うが、そのような場合には、適切な返答をすることも必要である。検討しなくてはならない質問に対しては、また後でご返答するという形でも良いと思う。

(木元委員) 27日の市民参加懇談会では冒頭で、今回は原子力長期計画に対するご意見についてご発言いただく会であることを確認する。また、ホームページなどで意見を募集したときにも、原子力長期計画に関するご意見を募集していることを明示している。応募いただいたご意見の中には、原子力はいらぬといったご意見もあったが、それは原子力長期計画を語る前提としてであり、あくまでも今回は原子力長期計画に絞ったもので、そのために開催することを当初から明示してある。

皆様からいただいたご意見を集約し、分類を試みているが、時間的に間

に合わない状況である。また、締め切った後にいただいたご意見も含め、集約、分類、整理したいと考えている。その結果は、ご意見をいただいた方からお問い合わせがあった場合、ご意見がどこに分類され、策定のプロセスにどのように反映されているのかお答えできるような形にしたい。

また、当日の会場でご質問があった場合については、原子力発電所や処理処分等に関する技術的な質問に対して、具体的にお答えすることはできないが、知る限りでお答えしたい。政策論的な質問になった場合は、原子力長期計画の策定過程で今後検討することでもあり、原子力委員会としても策定会議のあり方など固まっていないこともあるので、それらについては今後の検討項目としてご意見をお預かりする形になると思う。また、今までの原子力長期計画について具体的なご質問があった場合は、お答えできる部分はお答えしたいが、それ以外の事柄については今回のテーマからはずれるのでお答えできないことにならざるを得ないと思う。今回はあくまでも現行の原子力長期計画をお読みになっているという前提で、今後の原子力長期計画についてご意見をいただく形としたい。今までの市民参加懇談会では、テーマに関連する関係者の方に会場に来ていただき、ご質問があった場合はお答えいただいていたが、今回は行わないこととした。今回出席いただく方の中で答えられる方がいれば答えるという形にしたい。

(町委員) 第1部で発言いただくのは、どのような方々であるかが重要である。年齢や性別について詳しく教えてほしい。例えば女性は何パーセントで男性が何パーセントなのか。

(木元委員) 第1部での発言を希望された28名の方について、ご意見内容を集約し、テーマごとに分け、さらに地域別、男女別、年齢別に分けた。28名の中で女性の方の割合は少なかったが、なるべく入っていただきたいと考えた。発言者の選出においては、ご意見を集約したペーパーを用意し、人事案件であるため傍聴者の方には退席いただいたうえで、コアメンバーが討議した。その結果、年齢的にも、25歳の学生の方から、棄権されてしまわれたが79歳の方まで幅を持たせた。女性の方は3名になった。なるべく女性の方にも発言してもらいたいという意識はあった。

(斎藤委員長代理) 当日の会場においても9名を選出した理由を説明するのか。

(木元委員) ご意見の内容やその方が住んでいる地域などを考慮し、ご発言が可能であることを確認した上で選出したことを簡単に説明する予定である。

(斎藤委員長代理) 資料1の応募の内訳に記載がある「市民参加懇談会への

参加のみ希望」と記載されている109名の方は意見も提出されているのか。ご意見を提出されている場合は意見を整理するときに、その方々を含めた475件すべての意見を整理するのか。

(木元委員) そうである。締め切った後にも応募があり、後でいただいた意見や会場の意見、これから新しくいただく意見も原子力委員会に報告する際には含めなければならないと思う。すべて含めて集約、分類したい。

(斎藤委員長代理) 質問に対する返答については、客観性がありこちらが答えられる範囲で答えるという形になるのか。

(木元委員) 一つ懸念されることは、質問に返答することにより、議論になってしまい、会の趣旨が失われてしまうことである。ご意見として受け止める形にしたい。

(斎藤委員長代理) 第2部については、会場の参加者から発言を出していただくという趣旨になるのか。

(木元委員) 会場にいらっしゃる方に挙手をしていただき、前に出て発言いただく予定である。会場にスタンドマイクを6本程度準備しておき、発言される方にも顔とお名前を出して発言していただくと考えている。

(斎藤委員長代理) 活発な議論が期待されそうか。

(木元委員) 今までの経験から、発言をしようと待ちかまえている方もいらっしゃるかもしれない。ただし、今回は事前にご意見を募集しており27日の市民参加懇談会には、参加はするけれども発言はしたくないという方がどのくらい発言いただけるか関心がある。活発になることを期待している。

(町委員) 結果は整理して、「長計についてご意見を聴く会」等でどなたかが紹介するのか。

(木元委員) 結果は原子力委員会定例会議でコアメンバーの方にも出席いただき報告する。「長計についてご意見を聴く会」はご意見を伺う方を特定し、委員会からお願いをしてご意見を聴く形であるが、今回のご意見は公募によるものであり、不特定多数の方のご意見であるため、報告する場は定例会議が適切であると思う。

(斎藤委員長代理) 「長計についてご意見を聴く会」の形式では、市民参加懇談会のように475人の方に来ていただいて、ご意見を伺うことは不可能である。

原子力長期計画を作成する前の段階で、このようにご意見を伺うということは初めてのことであり、一般の方のご意見を伺うには良い機会である。ぜひ成功させてもらいたい。

(2) 町委員の海外出張について

標記の件について、藤嶋参事官より資料 2 に基づき説明があり、以下のとおり発言があった。

(町委員) エルバラダイ事務局長には、保障措置関係で、追加議定書の批准促進、多国間管理構想について話を聞く予定である。原子力エネルギー局のボネ部長には、核燃料サイクルに関する I A E A のプログラムや I A E A が促進している I N P R O (革新的原子炉開発プロジェクト) の見通しについて、また、原子力科学・応用局のブルカルト事務次長には、I A E A で実施するプログラムのプライオリティ付けや、環境保全、貧困削減における原子力の役割について意見交換を行う予定である。

(4) その他

- ・事務局作成の資料 3 の第 1 1 回原子力委員会定例会議議事録 (案) が了承された。
- ・事務局作成の資料 4 の長計についてご意見を聴く会 (第 1 0 回) の開催について、藤嶋参事官より説明があった。
- ・事務局より、3 月 2 9 日 (火) に次回定例会議が開催される旨、発言があった。